

民国連携による林業の成長産業化を目指して勉強会

【岐阜署】 7月24日、岐阜県七宗町上麻生地区森林共同施業団地(ケーススタディ地区)で、「生産性向上対策現地検討会兼伐採・造林一貫作業システム勉強会」を開催しました。

今般、当地区において、新型高性能林業機械(タワーヤーダ)による皆伐事業を実行する機会を得たことから、請負林業事業者を対象とした「生産性向上対策現地検討会」を開催し、タワーヤーダによる全木集材作業見学を通じて、生産性向上に重要な事業者の人材育成、技能向上の促進を図ることとしました。

また、当該事業は、伐採・造林一貫作業システムであることから、労働投入量縮減(低コスト生産・造林)を目指した勉強会も併せて実施し、民有林関係者(森林施業プランナー、林業普及指導員など)を含めた意見交換を行う中から、地域の木材生産に関する民・国、林業関係者の意識向上につなげることとしました。



タワーヤーダによる全木集材作業を見学



現地での意見交換会

第三期岐阜県森林づくり基本計画で「主伐・再造林の支援強化」を新規施策に掲げていますが、民有林はもとより、すでに平成25年度から試行を行っている国有林でも、まだ「伐採・造林一貫作業システム」の事例は十分とは言えない状況です。

今後も、民国連携によるこのような勉強会等を通じ、林業の成長産業化へ向けた取組を進めていきます。